

ハツと発達

指導・支援の工夫編

発達障がい教室では、小・中学校、高等学校等の通常の学級や通級による指導を担当する先生、特別支援教育の経験が浅い先生に向けて、発達障がいのある児童生徒への指導や支援の取組のヒントとなるよう「発達障がい教室だより『ハツと発達』」を発行しました。

登場人物紹介



ぷりまる先生

通常の学級の担任 ベテラン
特別支援教育についてまだまだ勉強中



円山くまお先生

今年採用になった先生
通常の学級を担当している



発達ノビ子先生

特別支援教育コーディネーター
経験豊富なベテラン

①

クラスに**立ち歩いたり、指示を聞けなかったり、落ち着かない**子がいて、どう指導していいか悩んでいるんです。

ふむふむ…

②

落ち着かない子への対応はコツがあるからね。実際に手本を見せてあげるよ!!

ぷりまる先生…

ふふん♪

ぷりまる先生
大丈夫かしら？

③

これは都度、対応しているだけでは…

なるほど…

④

落ち着かなくなった後の対応ではなく、**落ち着いている時に**対応しましょう！

え!?
落ち着いている時に**対応って**どういうこと!?

⑤ 対応の工夫の例

座席は窓側を避け
一番前にする

分からない時の
「教えて」の伝え
方を確認しておく

指示は具体的に！

読む→考える→操作する→書く
というように流れを一定にし、
作業を短時間で構成する

黒板だけが見えるよう教室
前面にカーテンを付ける

プリント配付の仕事を手伝っ
てもらうなど、立ち歩きを
動きのある活動に生かす

休み時間に十分に
体を動かす

何かあった後ではなく、**先回りの**
予防的対応が大事なんだね。

なるほど!!環境の調整や指示の工夫で
事前に対応することが可能なんだね。

